

令和6年度 第2回理事会 議事録

日時 令和6年 7月 29日(月) 17:30~19:00

場所 ZoomによるWeb会議

出席

理事 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 埴田 耕一 石井 敦 石塚 毅彦
菅野 真紀 伊豆野良太 阿部 智哉 小笠原智子 三部美穂子 丸川 明穂
高橋 瑠美 齋藤 朋子 荒生 聖子 渡部 冬虹 石塚 玲子 高橋 佳代
監事 伊藤千代子 鈴木めぐみ
議長 植木 哲也
書記 菅野 真紀 伊豆野良太

議事

本理事会は、理事21名のうち18名が出席であり、定款第33条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

- ・7/27(土)に開催された日臨技第3回理事会に出席。横地会長が就任して新体制となった。技師会の参加意識の向上を問題点として挙げられていた。横地会長は今後、地方の理事会に参加することも望んでいる。
- ・北日本支部医学検査学会は12/14(土)、15(日)に宮城県で開催予定。一般演題の演題募集が8/21(水)まで延長となった。現時点で山形県からは3題申し込みがあった(山形県からは15題ほどお願いされているとのこと)。県学会も近いところではあるが、余力がある施設は演題申し込みをぜひお願いしたい。

2. 各地区(村山／庄内・最上／置賜)

村山：県学会に向けての活動をメインに行っている。

庄内・最上：第1回地区研修会を計画している。10/12(土)新庄病院で開催予定。

置賜：第1回地区研修会を計画している。第2回地区研修会は来年2月での開催を予定。

3. 各部(庶務／会計／学術／企画)

庶務：山臨技の登記申請は7/19(金)に完了した。國井前庶務部長との引継ぎはこれから行う予定。

会計：(金子理事欠席のため植木会長より)先日、井上会計士と打ち合わせを行い、前年度分の報酬をお支払いした。

《協議》今年度も継続して井上会計事務所へ依頼してもよいか。

→本理事会出席者賛成一致で承認された。

学術：部門研修会の予定について(7/26血液(終了済)、9/14病理、10/5総合(Webのみ)、10/19微生物)。微生物部門長より部門研修会をメーカー共催で実施したいとの依頼があったが、こちらに関しては先日の業務執行理事会で回答済み。

(植木会長より)「精度管理委員長が空位であるが、精度管理委員の皆様で仕事を分担しつつ、各部門長や前精度管理委員長とも協力して進めていただきたい。また、生物化学分析部門の部門長が後任不在の状態である。北日本地区の部門委員には、後任が決まるまで前年

度部門長に引き続き依頼している。また状況が分かり次第報告していく。」

企画：(奥山理事欠席のため植木会長より) 今年も検査と健康展を企画予定。庄内・最上地区が担当となり、11/16(土)にイオンモール三川にて開催予定で進めている。

4. 各委員会 (生涯教育/精度管理・データ標準化/「山形医学検査」編集/ホームページ)

生涯教育：日臨技への申請が2件(7/26血液セミナー、10/19微生物研修会)あり、どちらも了承された。

精度管理：8/29(木)締め切りとして、各部門長に山臨技サーベイのデータ集計を依頼した。

精度管理報告会の日程と会場について、今年度は山形県立中央病院の講堂を会場とする予定。植木会長より会場を確保していただいた。第1候補は12/8(日)の8:30~17:00、第2候補は1/19(日)の8:30~17:00としている。

医学検査：第2号(会員名簿号)を現在作成中で、8/31発行予定。その後は第3号(抄録・精度管理報告合併号)を作成予定で、9/3入稿予定。

会員名簿のアンケートの回収率が低い状況であり、未提出の施設は早急に対応していただきたい。

《協議》第2号会員名簿号と第3号抄録集を大風印刷さんから直接発送してもよいか(1回につき10万円程度の出費となる)。

→県学会実行委員長である茅田地区長からも、印刷会社からの直送に関して肯定的な意見があった。

→本理事会出席者賛成一致で承認された。

ホームページ：今年度よりホームページの更新やメンテナンスを専門業者に委託するように進めていく。現在、株式会社フロット、藤庄印刷株式会社の2社に見積もりを依頼している。

5. その他

特になし

○議題

1. 県学会の一般演題の進捗について

- 7/18(木)に第2回実行委員会をオンラインで開催した。
- 当日の学会運営委員の選出依頼を村山地区各施設に発送した。所属会員数に応じて人数を割り振って要請した。合計27名要請したが、20名程度は募りたい。8/31(土)期限で、連絡担当者宛に発送したので確認していただきたい。今回このようにした背景としては、部門長は学術賞などの選考委員会に専念していただきたいという理由から。
- リハーサルは10/16(水)に山形ビックウイングの大会議室で予定。
- 教育公演は、本町矢吹クリニック院長 金谷 透 先生 に依頼した。
- ランチョンセミナーは現在1社から申し込みがあった。なお、継続して募集中である。
- 学会抄録集は、9/3(火)入稿、10/18(金)発刊予定。
- 支出見積もりは約170万円。収入見積もりは今年度の山臨技の予算としては、県学会費で120万円が計上されており、加えて参加費の約20万円と広告費の約20万円、合わせて約160万円となる見込みである。
- 一般演題の申し込みは現在0件。各施設の発表予定者がいたら積極的に登録していただきたい。迷っている方がいたら背中を押していただきたい。演題申し込み締切日は8/21(水)で、延長はしない方針で進めていく。15ないし20演題数を目指していきたい。(8/13現在 2件)

2. 各部各委員会の引継ぎ状況について

- ・(植木会長より) 先述した通り、生物化学分析部門の部門長が不在の状況である。今後部門研修会やサーベイの報告などが問題点となるが、まずは部門長不在でも部門員が協力し合って進めていただきたい。部門長の任期中に後任を決めてもらうという今までのスタンスが一番良いのだが、その他の案として、施設を順番ごとに割り振って決めていく方法や、人数の多い大規模の施設で担当してもらう方法もあるが、このやり方を今すぐ適応していくことは難しいと思われる。本日の会議では一つの結論を出すことは出来ないため、この課題については継続審議していく必要がある。
- ・《協議》今回の山臨技フォトサーベイに関して、回答が割れた設問があるので、判定 B(許容正解)を使ってもよいか(生理検査部門と一般検査部門)。
→選択肢として許容正解を用いることもよいのではないかと意見があった。一方で、日臨技 WG 経験者が以前話していたことでは、正解率が 8 割に満たない問題は取り下げるべき(評価対象外とする)との意見があった。また、北日本支部部門有識者の意見を聴取してはどうかという意見もあった。
→これらの意見を踏まえたうえで、理事会としては、「判定 B(許容正解)については承認するものの、改めて回答が割れてしまった原因を含め、部門内で再検討をおこなっていただきたい。その上で最終的な評価をお願いしたい。」との結論となった。

3. その他

- ・石塚庶務部長より、次の山形医学検査に掲載する事務局からのお知らせの文言変更の議題と決定事項の件について報告があった。
《協議》山形医学検査に掲載されている「事務局から」のページの文言を変更してもよいか。「(「退会届(日臨技のみ退会)」や「県技師会のみ入会する場合」などの箇所を削除したい)。
→本理事会出席者賛成一致で承認された。
また先日の業務執行理事会で協議した結果、技師会入会と退会については日臨技・山臨技をセットとすることで承認を得た。よって、今後は、山臨技のみ入会・日臨技のみの退会は受付けないこととし、現役世代で山臨技のみの会員には山臨技会長名義で日臨技への入会を促す方向で周知していく。一方、シニア雇用などで現在、山臨技に入会している会員は日臨技への入会や山臨技への退会を促すようなことはせず、日臨技からシニア会員への対応の動きが今後出てきた場合には別途、周知することとする。

○連絡事項・その他

- ・先日の山形県内の豪雨災害に関して。被害の確認ができる証明書が必要とはなるが、共済制度等もあるので、理事の皆様のみならず他の施設で被害に遭われた方などの情報があれば随時庶務部長または植木会長に教えていただきたいとのこと。災害のお見舞い金制度や規程等に関しては、事務局から各会員にメールを配信してお知らせするように進めていく。

- ・次回理事会(令和 6 年度 第 3 回)

令和 6 年 9 月～10 月に予定。(現地開催かオンライン開催かは未定)